

# 日本ロマンス語学会第 64 回大会

2026 年度の大会を次の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。  
プログラムは学会ホームページ <http://sjsrom.ec-net.jp/> にて公開しています。

日 時 2026 年 5 月 23 日（土）午後、5 月 24 日（日）

会 場 大阪大学箕面キャンパス（〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3-5-10）

交通手段 北大阪急行線 箕面船場阪大前駅下車 徒歩 約 3 分

大会実行委員長 長谷川 信弥（大阪大学教授）

なお、発表者の肩書は教員の方は専任・非常勤を問わず所属大学、学生の方は「…大学院」としていません。退職された方については決まりがないので、ご本人の希望を尊重しています。

総会にご欠席の方は、総会の議決に関して出席会員にご一任くださいますようお願いいたします。

事務局 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学総合国際学研究院  
日本ロマンス語学会事務局  
事務局宛 Eメール [nkurosawa\\_tufs.ac.jp](mailto:nkurosawa_tufs.ac.jp)  
(アンダーバーをアットマークに置き換えてください)

# 日本ロマンス語学会第 64 回大会プログラム

5月23日(土)(研究発表会場 1階大講義室)

◎開会の辞 (13:00) 会長 黒澤直俊

◎開催校挨拶 (13:05)

◎自由テーマ(持ち時間、質疑応答も含めて30分) (13:15~14:45)

【自由テーマ ①】「Jorge Amado の作品における  
ポルトガル語二人称所有形容詞 *teu/seu* の選択要因」  
東京大学大学院 鈴木 恵理

【自由テーマ ②】「ポルトガル語の接続法未来を伴う関係詞節の意味に関する試論  
— モダリティと定性の接点」 大阪大学 鳥越慎太郎

【自由テーマ ③】「スペイン語接続法補文における話題化制約再考」  
広島大学大学院 Errazola Mora Sofia  
広島大学 上野 貴史

◎休憩 (14:45~15:00)

◎統一テーマ「ロマンス語の語用論」 (15:00~16:00)  
(持ち時間20分。なお、質疑応答は「総合討議」で行なう)

【統一テーマ ①】「現代のスペイン語学の動向について」  
神戸市外国語大学 福嶋 教隆

【統一テーマ ②】「*siempre que* の通時的変遷：統語的定型化と語用論的機能」  
愛知県立大学 長 由佳

【統一テーマ ③】「ドロミテ・ラディン語バディーア変種の非平叙文における  
「希求性」と心態詞」 東京外国語大学 土肥 篤

◎休憩 (16:00~16:20)

◎総合討議(統一テーマに関するパネルディスカッション) (16:20~17:00)  
司会 未定

◎総会(会場 1階大講義室) (17:00~17:50)

懇親会 (会場 記念ホール(1階)) (18:00~20:00)  
会費 6,000円 学生会費 3,000円

5月24日(日) (研究発表会場 501 教室(5階))

◎自由テーマ (持ち時間、質疑応答も含めて30分) (9:00~13:00)

【自由テーマ ④】「スペイン語の母音分立と同じ母音連続を含む日本語の連母音の  
発話に対するスペイン語母語話者の主観評価」  
亜細亜大学 高澤 美由紀  
清泉女子大学 木村 琢也  
立教大学 泉水 浩隆

【自由テーマ ⑤】「コセリウの言語理論が有する意義について  
— 接続法の研究に紐づけて —」  
大阪大学大学院 森本 匡紀

【自由テーマ ⑥】「フランス語前置詞句 à l'avance に関する意味論的考察  
— d'avance との比較を通じて —」  
東京大学大学院 小金井 菜々葉

◎休 憩 (10:30~10:45)

【自由テーマ ⑦】「フランス大統領の新年演説における選択的リエゾンおよび  
連続なしリエゾン — ドゴール大統領からマクロン大統領  
までの75年間におけるリエゾンの変遷」  
大阪大学 バルカ コランタン

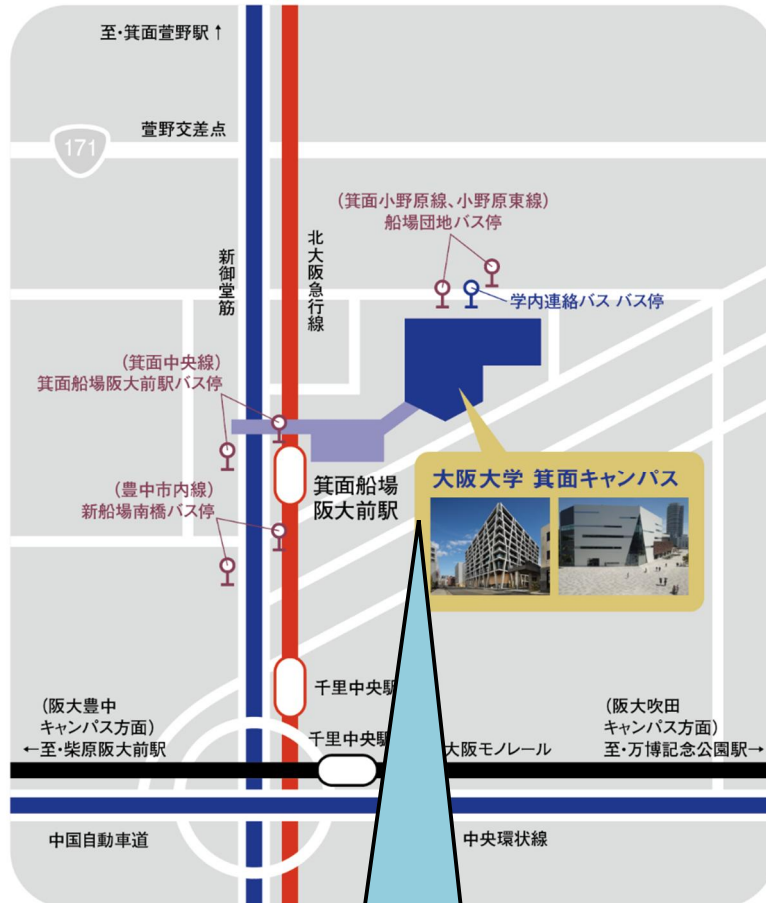
【自由テーマ ⑧】「スルセルヴァ方言における音素/c/の音響特徴について」  
東京外国語大学大学院 清宮貴雅

【自由テーマ ⑨】「ロマンス語条件法はどのような意味を持つのか、  
条件法研究の比較」  
東京大学大学院 川瀬 瑛美

◎閉会の辞 (12:15) 副会長 町田 健

# 会場のご案内

交通アクセス：箕面船場阪大前駅から3分



1 日目研究発表・総会

(1 階大講義室)

懇親会場

(記念ホール (1 階))

2 日目研究発表

(501 教室 (5 階))